

◆実践問題15◆

1 2 3
〔男に新しい妻ができたため、もとからいた妻は、男の家を出て行く。〕

3 この人は、供に人多くはなくて、昔より見慣れ

4 たる小舎人童一人を具して往ぬ。男の見つるほど

3 こそ隠して念じつれの門ひき出づるよりいみじく

泣きて行くに、この童いみじくあはれに思ひて、

5 この使ふ女をしるべにてはるばるとさして行けば、

3 『ただこことも』と仰せられて、人も具せさせ給

はで、かく遠くはいかに』と言ふ。山里にて人もあ

りかねば、いと心細く思ひて泣きて行くを、男も、

あばれたる家にただ一人ながめて、いとをかしげ

なりつる女のさまの、いと恋しく覚ゆれば、人や

1回目
2回目
3回目
4回目
5回目

3 は
りならず、「いかに思ひいくらむ」と思ひ居たるに、
やや久しくなりゆけば、簀子に、足しにもさし下

しながら寄り臥したり。

3 この女は、いまだ夜中ならぬさきに往き着きぬ。

見ればいと小さき家なり。この童、「いかにかかる

S 所にはおはしまさむずる」と言ひて、いと心苦し

と見居たり。女は、「馬率て参りね。待ち給ふらむ」

と言ふ。

4 は
1の所へ